

鼻からの内視鏡

経鼻内視鏡検査（けいびないしきょうけんさ）



当院では、最新の機器による経鼻内視鏡検査積極的に施行しています。

経鼻内視鏡は・・・

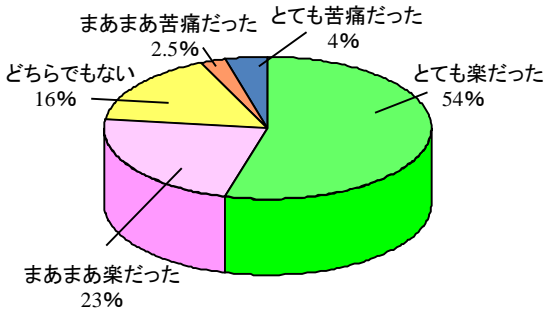
- “オエッ”とならない ←舌の奥にカメラがあたらないので、嘔吐反射を誘発しにくい検査です
- 検査中会話ができる ←口をふさがないので検査医師と会話しながら検査を受けることができます
- すぐ食事がとれる ←喉の麻酔をしないので、検査15分後食事も可能です
- “のど”もよく見える ←咽頭がんや喉頭がんのチェックも得意です

日本は胃癌大国であり、上部消化管検査は早期胃癌発見やそのほかの病気の診断・治療効果判定に大変有用です。しかし、内視鏡検査時の苦痛が問題でした。経鼻内視鏡は細くて刺激が少ない上、喉の奥(舌根)に触れないことから検査時の嘔吐反射が軽減でき、検査の苦痛軽減が期待されるだけでなく、呼吸や血圧変動なども軽減できるため安全性の高い検査法です。特に抗血栓療法(血液さらさらの薬)などが必要な患者さんにもおすすめです。咽頭麻酔が必要ないため、検査後15分後には食事摂取が可能です。



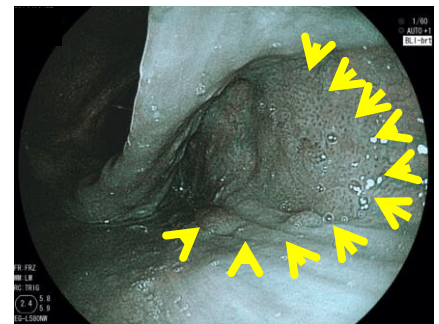
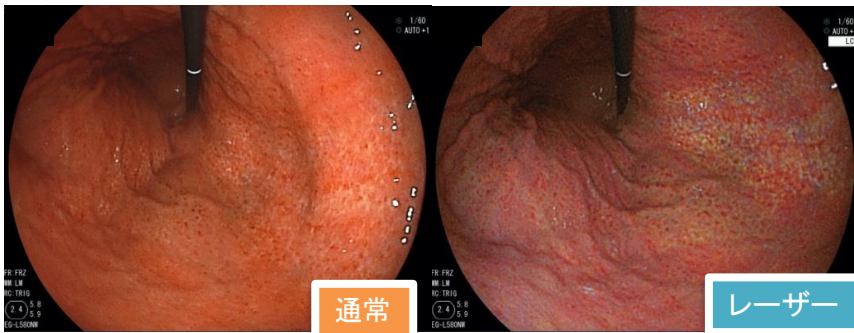
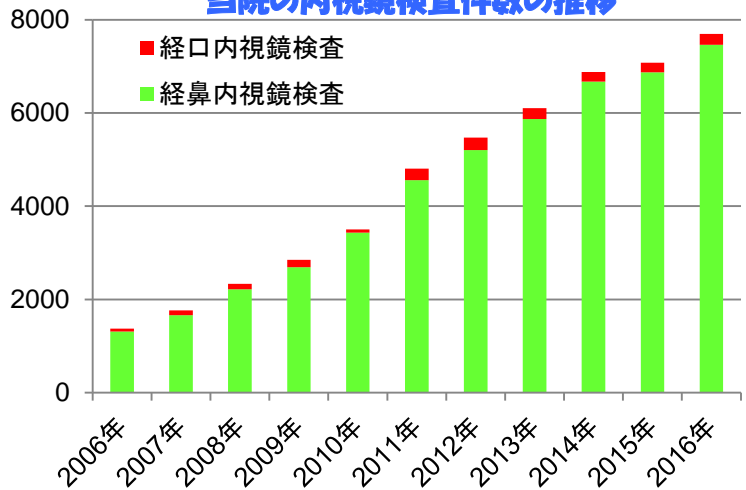
経鼻内視鏡の太さは約5mmと経口内視鏡の約半分であり、とても細いのが特徴です

経鼻内視鏡受検者のアンケート



約8割の人が“楽だった”と答えました

当院の内視鏡検査件数の推移



最新のレーザー経鼻内視鏡は胃がんの発見はもちろん、ピロリ菌感染の判定にも有効です。(写真は同一のピロリ陽性の患者さん)

のど(咽頭・喉頭)の早期がん発見にも有効です

ご不明な点は担当医師や内視鏡室スタッフにお気軽におきください。

出雲市立総合医療センター
電話 0853-63-5111